

JAPIC 森林再生事業化委員会 次世代林業シンポジウム

～九州地域モデルへの挑戦～

日時：平成27年2月17日(火)13:00～15:30
場所：鉄鋼会館 8階 801号室(東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10)
主催：JAPIC 森林再生事業化委員会

開催趣旨

JAPIC 森林再生事業化委員会は、「次世代林業システム」(広範囲な企業の力を結集し、シームレスな広域の森林整備を進め、木材カスケード利用により国産材の自給率 50%をめざす)を提唱し、産業界を中心に林野庁・国土交通省・経済産業省とも連携し、日本初の産官学プラットフォームとして活動を行ってきました。

このたび、JAPIC は、熊本県五木地域森林整備推進協定(6300ha)の運営に参画して、次世代林業システムの地域モデルとして支援する方向になりました。本シンポジウムでは、民国連携による森林整備推進協定をいかにステップアップさせ、スケールメリットを追求していくかについて、その課題と可能性を議論します。

申し込み方法

氏名
メールアドレス
会社名(ご所属)
電話番号
を記入の上、次のアドレスまでお申込みください。
wood@japic21.or.jp

第26回森林再生事業化委員会

シンポジウムの終了後、第26回森林再生事業化委員会を開催します。ご興味のある方は傍聴参加が可能です。
時間：16:00～17:30
場所：鉄鋼会館 8F 801号室

プログラム

- 趣旨説明 森林再生事業化委員会委員長 慶應義塾大学特任教授 米田雅子
- 来賓挨拶 林野庁 森林整備部 部長 本郷浩二
- 九州地域モデル構想について
 - 3-1 五木地域森林整備推進協定の経緯と現状 住友林業(株) 山林環境本部副本部長 片岡明人
 - 3-2 五木地域への JAPIC からの提案について 日本製紙(株) 原材料本部長付部長 松本哲生
 - 3-3 地域モデルへの期待 王子木材緑化(株) 国内営業本部林業部部長 荒井 均
 - 3-4 九州における先進的な林業機械について イワフジ工業(株)代表取締役社長 及川雅之
 - 3-5 国産材時代に向けて川下から川上への戦略 中国木材(株) 代表取締役社長 堀川保幸
 - 3-6 九州木材産業のアジア展開について 九州経済連合会 産業第一部次長 加來英彦
- ディスカッション:九州地域モデルの実現をめざして
パネリスト:東京大学 大学院農学生命科学研究科教授 酒井秀夫
林野庁 国有林野部経営企画課長 湊上和之
熊本県 森林整備課長 長崎屋圭太
住友林業(株) 山林環境本部副本部長 片岡明人
日本製紙(株) 原材料本部長付部長 松本哲生
コーディネータ:森林再生事業化委員会委員長 慶應義塾大学特任教授 米田雅子
- 閉会の言葉 一社)日本プロジェクト産業協議会 専務理事 丸川裕之

問合せ先: JAPIC 森林再生事業化委員会事務局

一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 伊東俊昭

TEL:03-3668-2885 E-mail:wood@japic21.or.jp, E-mail:t_ito@japic21.or.jp

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 6F

JAPIC ホームページ <http://www.japic.org> のバナーからアクセス